

星屑

2019 年 7 月号

No. 532



総会記念写真

2019 年 5 月 12 日

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

5/12(日) 火の君文化センターで 熊本県民天文台総会 → 天文台で昼食会

記念撮影後に全員で「星屑」発行作業を行い、近況報告・情報交換会も開催



■ いつもの会場で

10:00に始まりました。今年は、参加できない方からの委任状もほぼ全員分が集まり、熊大天文部から2名の参加があり、市の城南町づくり交流室からの来賓参加もあって、人数は少ないけれど和やかな雰囲気の中で始まりました。

議事は議案書の順に従って進行し、事業報告と決算・監査の各報告、事業計画と予算、役員人事など、各議案が満場一致で承認されました。

報告の中で、昨年度は6月に新しい望遠鏡が導入されて、その準備作業や寄贈の式典、導入後の調整・整備に相当な時間が費やされたこと、また夏には経験のないほどの異常な猛暑が続き、団体観望会を中止した例もあったことなどが改めて報告されました。

■ 新しい一歩！

熊本地震の発生から3年が経ち、新しい望遠鏡の寄贈も無事に済んで、その後に続いた一連の整備・調整作業も今年4月に完了、ようやく新しいスタート地点に立ったわけです。このところ一般公開の運営を支える「運営委員」の実働人数が少なくなりましたが、この春には久しぶりに新しいメンバーが加わりました。デジカメが高感度化・高精細化を続け、「天体写真の撮影」に魅力を感じる若い世代が増えているようです。この流れに対応しつつ天文解説の楽しさを伝えて一般公開運営メンバーの養成にも力を注ぎます。

■ 記念写真撮影と星屑発行

例年のように記念写真を撮影してから、印刷済みの会誌「星屑」を表紙用の天体写真と一緒に封筒に詰め、宛名シールを貼ってのり付けをし、あっという間に発送準備が整いました。それから、テーブルを2列に並べて、近況報告と情報交換会を行いました。



月探査機「かぐや」の月面データから月面地形の詳細模型を作る技術を開発した高田氏は、その技術が熊本地震後の防災研究に役立つと認められ、仕事として大型の立体地形模型を制作したことを報告して注目を浴びていました。

また、彗星観測家の小林寿郎氏は、地震で被災したままになっている観測機器を近々再建して観測を再開するらしく、これから接近すると予想さ

れる彗星についての観測情報を熱く語ってくれました。

■ 新しい取り組みも

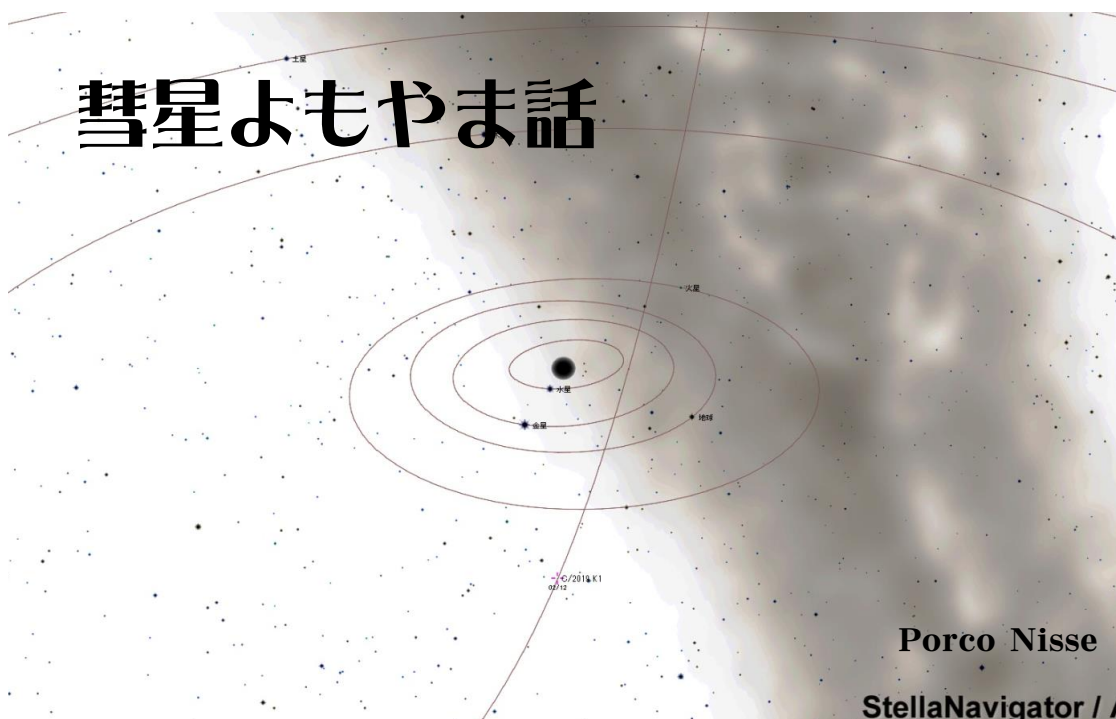
ちゅう

「星空の観察」とツーリズムを組み合わせた「宙 リズム」の取り組みが各地で始まり、熊本県内での開催について講師の派遣依頼が入り始めました。今後の動きに注目しましょう。

☆☆☆☆☆☆ これからの予定 ☆☆☆☆☆☆

- ★ 7月6日（土） 人吉西小学校で
「星空観察会」 夏の星空と木星・土星
- ★ 7月28日（日） 上天草市で
「星空観察会」 夏の星空と木星・土星
クラブツーリズム主催のツアー、A列車乗車も
- ★ 7月29日（月） 上天草市で
「星空観察会」 夏の星空と木星・土星
クラブツーリズム主催のツアー、A列車乗車も
- ☆ 8月10日（土） フィールドミュージアムへ飛びだそう！
「星空観察会」 木星・土星と夏の星空
- ★ 9月7日（土） 熊本県環境センター（水俣）で
「星空観察会」 木星土星と夏の星空
- ☆ 9月13日（金） フィールドミュージアムへ飛びだそう！
「星空観察会」 中秋の名月を観察して撮影しよう！
- ☆ 9月14日（土） 城南町家庭教育学級 あぼろんの会
「星空観察会」 中秋の名月を観察して撮影しよう！

彗星よもやま話



明るい彗星がなくなってきたこの頃、星屑用の彗星ネタも尽きてきた。新たに発見される彗星も肉眼彗星になるような星は見当たらない。そろそろドカンと一発欲しいと思うのは筆者だけではないだろう・・・。

C/2019 K1 (ATLAS)

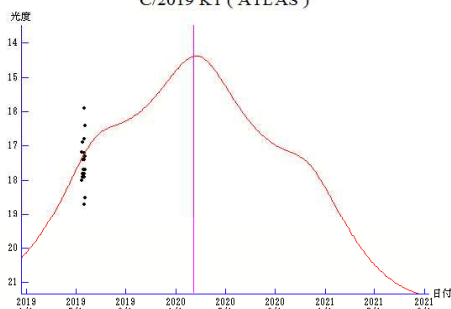
5月16日ATLAS-MLO(ハワイ、マウナロア)にて 17等で発見された彗星だ。初期起動では近日点距離 2.1auと少し遠く、軌道傾角が 88度と大きい彗星だ。気になるのはその離心率で1.06と11ほどではないものの太陽系内の天体と断定するには問題のある数値だ。

今後の観測からその正体が確定されるだろう。この彗星は5月5日頃は木星のすぐ側(見かけ上カリストよりも木星に近い)にいた。もちろん、木星の光輝に邪魔されて大きな望遠鏡でも写しとめることはできなかっただろう。

なお、この星の近日点通過日は2020年の2月7日、残念ながらそのころの赤緯は -72度と我が国からは見えない。明るい彗星ではないので、口惜しくはないけれどね。

21になるかどうか・・・恒星間天体なのかどうかは気にはなる星だ。もしそうであれば、11とは違った意味で観測史上に残る星となる。

※6月2日公表の改良軌道要素では離心率1.003と小さくなってしまった。つまらないなあ。

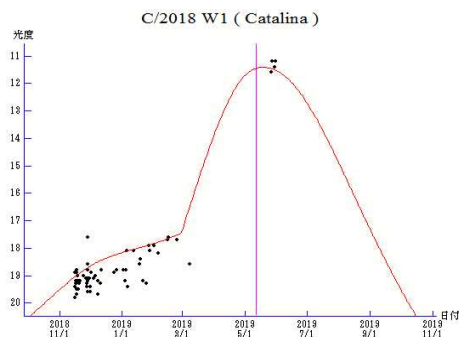


★光度カーブ図は吉田誠一の作成

C/2018 W1 (Catalina)

昨年11月16日に発見されたこの彗星は、5月11日に近日点を通過した。3月に18等で観測された後は太陽に近くて観測されなかった。それが5月末に再観測された時には11と明るくなっていた。この状況を図にしたのが右図だ。

発見当初の観測から得られた絶対等級は 13.5等程度で明るくならない彗星と思われた。それが再観測時に2等ほどになっていた。こういう変化は周期彗星によく見られる。この星の離心率は 0.938、周期は102年だ。ここにこの増光理由のキーがあると筆者は思うのだ。





谷間の彗星搜索家 西川 登さん逝く

免許を取り立ての頃、週末は車で行ける所に行くような生活をしていた。もちろん、熊本県民天文台が出来ずっと前の話だ。水俣市から谷間の国道268号線をまだ学生だった松尾君と走っていた時、右手にスライディング・ルーフのある櫓に気づいた。そこが西川登さんの観測塔だった。初めてお伺いした時、快く案内していただいたのを鮮明に覚えている。独自に製作した20cmコメット・シーカーを楽しそうに説明してくれた。「視界が問題ですね」というと「なあに2000時間に一つ見つければ良いのさ」と笑っていた。従軍経験があり、銃撃の確率から自ら発見の確率を計算したのだから・・・彗星搜索の先輩の話しにわけもなく私はうなずいていた。

それから何度かこの観測塔を伺った。さいごは数年前もう年老いて老い先短いかも知れないからと言われ、宇都宮氏・工藤氏らと一緒にうかがった。先日、山田氏から西川さんが5月9日に亡くなった伝えられた。結局彗星仲間が集まったあの時がさいごのお姿となった。1987年の西川-高見沢-多胡彗星の発見確認作業でお手伝い出来たのは良い思い出だ。

熊本県民天文台及びその前身の熊本天文研究会の先輩の方々が次々と星になっていく・・・これが時の流れと自然なことと分かっているにも寂しさが募る。これからは谷間の上から彗星をのんびり眺めてください・・・西川さん。

※西川さんと西川-高見沢-多胡彗星については、星屑 No. 147に特集記事があります。ホームページのアーカイブから見る事が出来ます。



小島信久さんを偲ぶ

彗星関係者の中では、70P/小島周期彗星等の発見者で知られる小島信久氏が3月21日に亡くなられた。小島氏と最初にあったのは、中京地区で開かれた星の広場の集まりだった。日本特殊光学の山田氏とともにお話しした記憶がある。数年前、愛知を訪れた際に星仲間が小島氏の自宅に案内してくれた。田んぼの広がる町にドーム(全部自作)をたくさん持つ家があった。同じ趣味を持つ仲間はいっただって楽しい話が時間を忘れて出来る。またお会いしようとお別れしたが、その機会はない。お土産にいただいたエビセンはとても美味しかった。小島さんの星はこれからもずっと夜空を巡る・・・合掌

☆☆☆☆ ちょっと一服

Poem & Illustration

いよいよ梅雨です。本格的に蒸し暑くなりそうで嫌ですねえ。昔、学生だった頃、5月の暑さに早く夏服にしてくれと思い、6月の衣替えで夏服になったとたん梅雨入りで今度は肌寒くて仕方がないという理不尽な思いをしていた覚えがあるのですが、このところ、もう何年も、梅雨になってもちっとも肌寒くならないと思いませんか？

さて、金星はいよいよ太陽に近くなってきました。さすがに夏至のころの明けの明星は…見ないよなあ…寝てるもの。一方、木星はサソリの上に乗かって輝いております。尻尾の先のほうには土星の姿も。ちょうど、さあ寝よう！と思う時間にきれいに見えてくるので、時間に余裕があれば撮影をと寝る前チェックするのですが…晴れません…晴れてくれえ…



おとめ

うっすらと透き通った衣が
ひだを作りながら動いていく
縫い合わせてはいないから
通した手はそのまま しっかりと
麦の穂をつかんでいる

麦秋 は もう終わりだ
蓮華がすき込まれた田んぼは
水が張られるのを待っている

おとめの足は
ひたひたと水辺を彷徨い
その足元から
蛙たちの大合唱が沸き上がり
幾筋もの白い糸となって
衣を織り上げていくのを 見た

今年のホタルたちは
おとめの衣を彩っていたか？
闇夜のからすが
意味ありげにウインクしている



By Dio

2019年5月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 4日／4日＝100％
一般来台者数 43名

総開台日数 7日
会員来台数 23名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
3 日 (金)	晴れ	艶島	0 人	久しぶりに晴れたので撮影。 黄砂なのか透明度が悪い。 M 8 7, M 5 1 ノーフILTERで撮影してみます
4 日 (土)	曇り	中島 艶島	2 0 人	レグルス、プロキオン、アークトゥルス
7 日 (火)	晴れのち 薄曇り	艶島	0 人	昼 ボランティア保険の申込書を提出 夜 撮影テスト クアドバンドFILTERでM 8 7 薄雲が広がり始めて途中で中止
1 1 日 (土)	晴れ /曇り	中島 艶島 小林M	1 3 人	月、アークトゥルス、スピカ、ミザール、M13 半月の撮影 総会準備 募金 13900 円 ケヤキの枝切り
1 2 日 (日)	晴れ		会員 13 人 来 賓 1 人	熊本県民天文台総会 火の君文化センター 10:00 開会 詳細は記事参照
1 8 日 (土)	雨のち快晴	艶島	0 人	昼過ぎまで雨。夕方まで厚い雲、そして快晴！ 雨上がりに強い風が吹いて急に晴れました。透明度が抜群。昇ったばかりの満月が白くまぶしい。天頂付近～北斗七星あたりの M 天体巡りができるほど。でも低空のシリウスやベガは全く点像にならず。満月は視野の中で沸騰していた。すごい空なんだけれど来台者無し。2 1 時で終了。ISS が強烈な明るさで天頂を通過。観測室の 2 台の PC の OS をアップデートしました。
2 5 日 (土)	晴れ	中島 艶島	1 0 人	アークトゥルス、スピカ、ミザール、M51,M13,M5,木星 薄雲がかかっていたのでなかなかすっきりとは見えず残念！木星は低いのによく見えた。大赤斑、4つの衛星となかなかでした。

蛍動画の撮影

HIGE

最近、近所に蛍が出てきたので動画で撮影できないかと挑戦してみた。最新のデジイチでは結構簡単に撮れているのだが、改造6Dと冷却CMOSを買ったばかりの年金暮らしでは、なかなか最新の機械は買えない。そこで、手持ちの機材を使って挑戦ということに。

ネットで調べてみるとASI294MCPR0で蛍を撮影している方がいて、結構いい感じに写っていた。早速まねをしてみることにして、6月1日(土)の夜に家族で出かけた。まずまずの蛍日よりということで機材を組み立ててみる。レンズは35mmF2.5を用意した。パソコンを使っただけの撮影なので結構面倒ではある。2×ビニングで感度を上げ、さらにフレームレートの改善も狙ってみた。ゲインを精一杯あげて撮影すると、背景の茂みの様子も同時に写し込むことができ、まずまずの出来だった。3×ビニングでは画像が今ひとつになってしまったので、少し夕焼けの残る時間帯に撮影すればなかなかいい感じになりそうだった。

その後、日を改めて友人と今度はキャノン6Dで動画撮影に挑む。ちゃんとマニュアルを読んで設定をしてから撮影だ。ISOは25600とし、露出は1/30秒まで伸ばしてみた。レンズは20mm-40mm F2.5を使ってみた。オーロラ撮影にもっていった古いレンズだが、まあいいか。結果は、何とか背景も写り蛍もしっかりと写っているので、蛍の数が多ければとてもいい感じになりそうだった。

今まで固定撮影で長時間露光による蛍の写真しか撮っていなかったのだが、動画で撮ると、なかなか自然な感じの写りいいもんだと思った。

今回はF2.5前後のレンズを使ったのだが、やはりもう少し明るいレンズが必要なようだ。次回は50mmF1.4あたりを持って行こうかなと考えている。本当はもっと短い明るいレンズがあればいいのだけれども、それはないのでこの程度で。



やっと梅雨に入りましたね。いや、入っているはず…。梅雨入りとしては平年並みと言ったところでしょうか。最近の降り方ですが、豪雨や雷のところもあれば、全然降ってないところもあったりして、これも温暖化が原因なのでしょうかね。先日の雷雨も酷かったですし、光った途端ドカーンと大きな音がして、光と音の差をカウントしながらビクビクしてました。ウチに落ちなくてよかった。くわばら、くわばら。

☆ 7 月の天文現象 & 行事 ☆

- 3 日 (水) 新月 (04:16)
- 7 日 (日) 七夕 水星が留 (13:25)
小暑 (しょうしょ・・・ 暑気に入っていよいよ暑くなる)
- 9 日 (火) 上弦 (19:55)
- 10 日 (水) 土星がいて座で衝 (01:10 0.1等 視直径18.4" 環長径41.8")
- 13 日 (土) トークアバウト (20:00～ 変更の場合あり)
- 14 日 (日) みずがめ座 R 星が極大 (5.2~12.4等 周期387日)
- 17 日 (水) 部分月食 (西日本方面で月没帯食) 満月 (06:38)
いて座 R T 星が極大 (6.0~14.1等 周期306日)
- 21 日 (日) 水星が内合 (06:52 4.8等 視直径11.6")
- 23 日 (火) 大暑 (たいしょ・・・ 一年で最高の暑さ)
- 25 日 (木) 下弦 (10:18)
天王星が西矩 (15:50 5.8等 視直径03.5")
- 28 日 (日) ヒヤデス星団の食 δ 1 (3.8等) (福岡 潜入02:45→03:42)
- 31 日 (水) みずがめ座 δ 南・北流星群が極大のころ
やぎ座 α 流星群が極大

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2019年7月号 通巻532号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで